

「私と茶道との出会い」

(有)中谷住宅 代表取締役 たけなか 竹中 まりこ 眞利子



住 所: 加古川市尾上町旭1丁目49-3
T E L: 079-424-1829
営業内容: 不動産賃貸業・管理業

私が両親の経営していた不動産屋を手伝い始めたのが24才の時。今64才ですから、ちょうど40年になります。その間、結婚・子育てと仕事との両立で毎日忙しく、立ち止まることなく走ってきたように思います。

そんな中で私の楽しみは、ちよつといい宿に泊まって日常を忘れてゆつくり過ごし、おいしいお料理をいただくこと。そんな旅行の中で、その地方の有名なお菓子を探すことが常となっています。私の唯一の趣味である『お茶』で、抹茶と一緒にいただくためです。私が『お茶のお稽古』を続けてこられたのは、このおいしいお菓子があるからではないかと分析している次第です。(笑)

私が『お茶』を習いたいと思ったのは、学生時代に友達と出かけた旅行がきっかけでした。その旅先の宿で抹茶を出していただきましたが、私は飲み方を知らず、まごまごしていました。ところが、その友は『頂戴します』とあいさつをし、手の平の上で茶碗を2度回し、おいしそうに抹茶をいただいていたのです。なんと素敵だったでしょう！なんとかつこよかったことでしょう！話を聞くと『お茶の稽古』に通っているとのこと。5年ほど前に黒木華さん主演で樹木希林さんがお茶の先生を演じた映画『日は好日』の世界で『お茶』を習い始めました。その先生が、今御年92才。お稽古の時にはいつも着物を着て、凜とした方です。私もあんな風に年を重ねていけたらいいなと思います。



私が普段お稽古している点前は『茶道』のほんの一部分にしかすぎません。集大成は『茶事』を行うこと。今流に言うところのホームパーティーですね。お客様をお招きし、炭をつぎ、懐石、濃茶、薄茶をもてなします。花の名前、掛け軸・焼き物など道具のこと、お香、詩、歴史的な背景等色んなことを知っていないといけません。茶道を知れば知るほど奥が深く、いろんな知識が必要なのがわかってきます。私にはまだまだ勉強することが一杯です。

今お茶を習う若い人が減ってしまい、私の所属している裏千家淡交会でも、会員の高齢化が深刻になっています。私でさえ『若い』と言われるぐらい諸先輩が大勢いらっしゃいます。そんな先輩方には長く続けていただきたい。また若い人たちにも茶道に興味を持ってもらいたい。そして、日本を訪れた外国人に対し日本の伝統文化として、点前を披露してもらえようになつたら素敵だと思っています。